

町の仕事は広範囲であるため、**一般会計**と**特別会計**に分けて予算を編成しています。

一般会計は、福祉、子育て、道路や公園の整備など、町の基本的な仕事をするための予算で、皆さんから納めていただく町民税や国・県からの交付金などが主な財源です。

特別会計は、保険料や使用料など、特定の収入によって事業を行い、その収支を明確にするための会計です。中山町には、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、農業集落排水、公共下水道の5つの特別会計があります。

### 特別会計総額 32億8,723万円

※前年度特別会計当初予算総額33億4,847万円

- 国民健康保険特別会計予算.....13億6,178万円
- 後期高齢者医療特別会計予算.....1億2,108万円
- 介護保険特別会計予算.....12億4,578万円
- 農業集落排水特別会計予算.....8,046万円
- 公共下水道事業特別会計予算.....4億7,812万円

(千円以下を省略しているため、総額とは若干異なります)



お金の出入りが分かりやすいよう、お財布を別にしていきます。

### 平成28年度予算のポイント

時代に合わなくなり、優先度の低くなった事業を見直す「ビルドアンドスクラップ」など、最小の経費で最大の効果をあげるといふ原則のもと、一層の効率化と経費削減を進めていきます。

平成28年度は、重要事業に位置付けていた中山中学校建設事業において、校舎および屋内運動場の建設が終了したことから、中学校建設関連事業の予算が縮小し、一般会計予算は歳入・歳出ともに昨年より12億2,500万円減、率にして18.2%減の55億1,900万円となりました。



今年度新たにスタートする事業としては、第3子に対する保育料無料化や小児おたふくかぜ・小児インフルエンザの予防接種に対する助成などがあり、子育て支援などの事業にも重点的に取り組んでいきます。

#### 用語解説 (歳入)

- 地方交付税：地方自治体の税の収入格差をなくし、サービス水準を一定に保つため、国が集めた税金を市町村の規模に応じて交付されるお金。
- 国庫・県支出金：特定の事業を行うため、国や県から交付されるお金。
- 町債：事業を実施するために、町が銀行などから借入のお金。
- 町税：町民の皆さんや町内に事業所を持つ事業所などに納めていただくお金。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。

#### 用語解説 (歳出)

- 人件費：町職員、町長、副町長、町議会議員などの給料や報酬。
- 扶助費：生活に困っている方や、高齢者などの生活を守るお金。
- 公債費：借りたお金(町債)を返すためのお金。
- 物件費：電話、郵送などの通信運搬費や消耗品などを買うお金。
- 維持補修費：町の施設や車の維持・管理に使うお金。
- 普通建設事業費：公共施設の建設や整備に使われるお金。
- 積立金：中山中学校整備基金など、各種基金への積立金。
- 繰出金：特別会計の収入を補うためのお金。

## 平成28年度予算総額は88億623万円

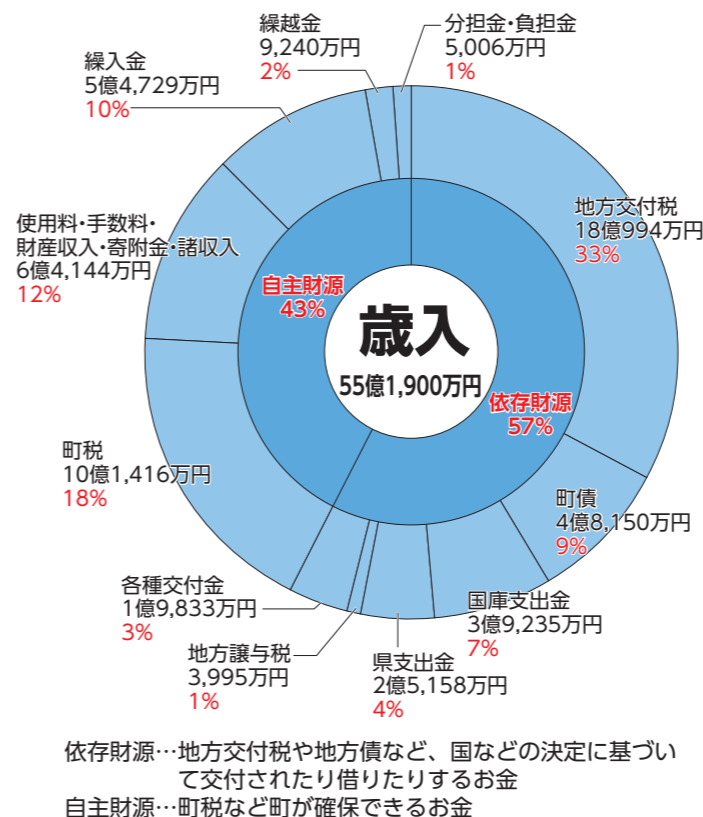
※前年度当初予算総額100億9,247万円

3月2日から11日までの日程で開催された町議会3月定例会で、平成28年度の当初予算が成立しました。その内容についてお知らせします。

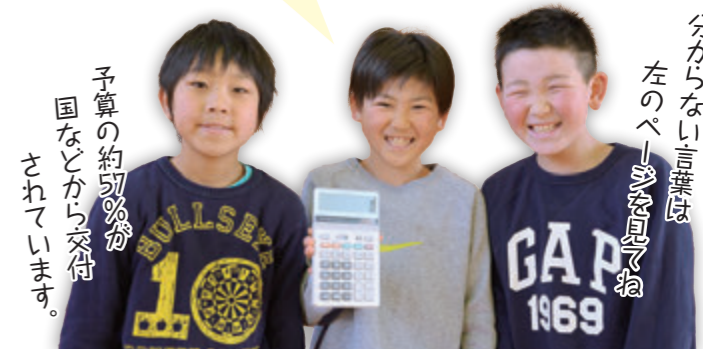
※町議会3月定例会の内容は10~13ページに掲載しています。

### 一般会計総額 55億1,900万円

※前年度一般会計当初予算総額67億4,400万円



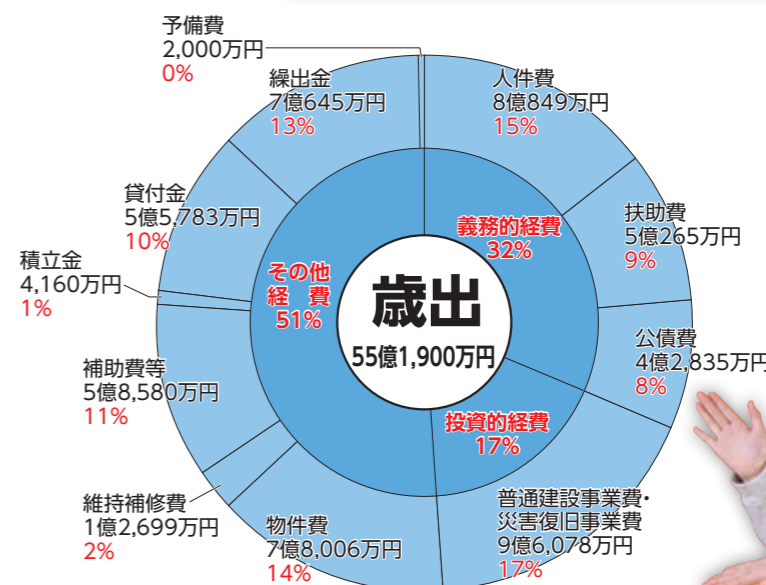
中山中学校建設が一区切りついたから、国からの補助金は去年よりも少なくなる見込みだよ。一方で、ふるさと納税がテレビなどで取り上げられて広く知られるようになったことから、寄附金の増額が期待されているんだ。寄附してくれた方への返礼品もこれまでの約3倍に増やし、ますます充実させていく予定だよ！



予算の約7%が国などから交付されています。左のページの言葉は分からない言葉は

平成27年度中に中山中学校新校舎の建設工事が完了。今年は、グラウンド整備や旧校舎の解体作業に取りかかります。ほかにも、長崎小学校の空調設備工事、校舎北棟の屋根などの改修工事が行われます。学習環境の整備にたくさんのお金が使われているんだね。

しっかり計画をたてて、有効に使わないとね



町づくりに必要なお金だよ

